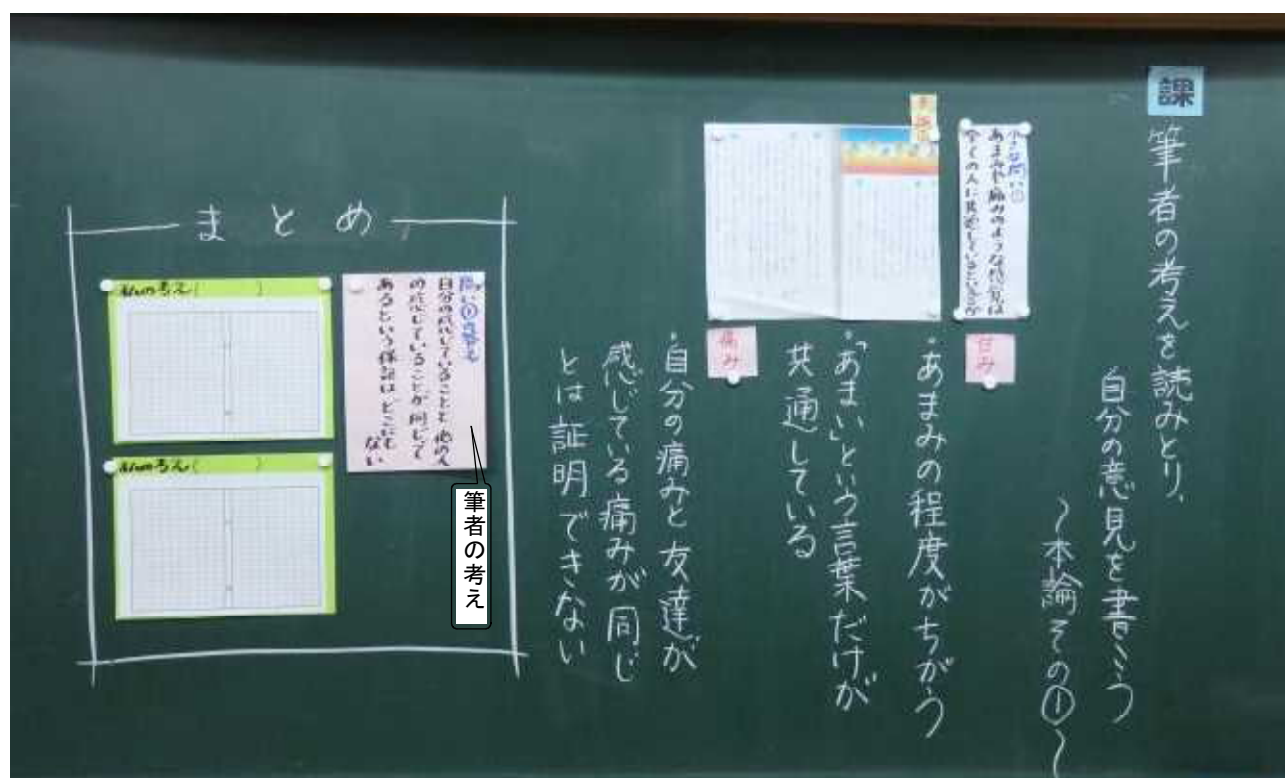


7. 本時案
〈本時の目標〉
5年 季語から想像を広げて俳句を作る

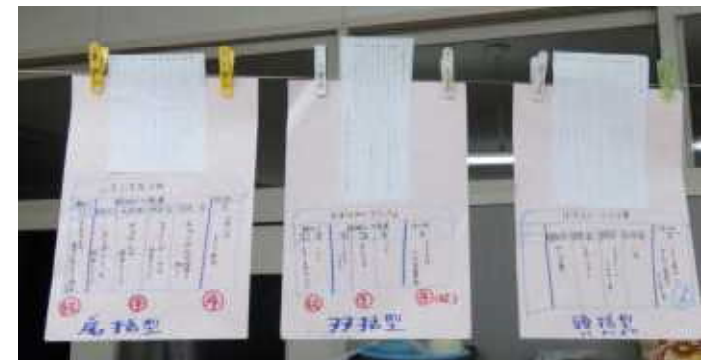
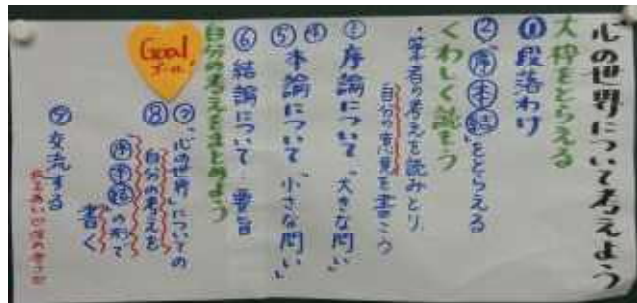
6年 取り上げられている例と筆者の考えを読みとり、
自分の考えを書く

本時の展開 5年生			本時の展開 6年生			
評価規準(方法)	◎教師の関わり (発問、指示、動き)	●学習活動	段階	●学習活動	◎教師の関わり (発問、指示、動き)	評価規準(方法)
	・提示した俳句の補足をする 「かな」「けり」「や」等の切れ字についてふれる 「菜の花や月は東に日は西に(与謝蕪村)」 「トランプのジャックの顔のいなごかな(石田郷子)」	①今日の俳句を読み、「季語」と、その情景や気に入ったところを見つけ、カードに書き込む 課題 俳句を作ろう② 「季語から見つけろ大作戦」	とらえる ふりかえる	・めあてを写す 課題 筆者の考えを読み取り、 自分の意見を書こう 本論その①		
				①前時に序論からつかんだ「大きな問い」を確認する 大きな問い 自分にみえているものは、他の人にもおなじように見えているのか。		
			とらえる	②めあてを意識しながら⑦～⑱を、二人で形式段落ごとに読む。その後個々に微音読をし、⑦～⑱段落から「小さな問いの文」を見つけて確認する。	・今日のめあてを意識しながら音読させる ・「小さな問い」枠・ワークシートを提示 小さな問い1 あまみや痛みのような感覚は、全ての人に共通しているといえるか 小さな問い2 人と人は、永遠に理解し合えないのだろうか	
(関)新しい技法を知り、使おうとする(ワークシート) (書く)季語から想像を広げて俳句を作っている(ワークシート)◎	・季語プリント配布 ・イメージマップ例示 ・良さをとらえることを主眼にする ・過去の五年生達がつ作った俳句であることを伝え、タイミングによっては感想をもらう	③例題を使って作句する ・イメージマップ→作句 ④作った作品の情景を発表したり、同じ題材の俳句を鑑賞する ・自分なりの解釈で良し ・良さを見つける ・感じ方の違いを楽しむ	考える 考える ひろげる ひろげる	③⑦～⑫段落の、例からわかること(意見・考え)に波線を引く。そして問い①への答え(筆者の意見)を見つける。 ・まずは一人で線を引き、その後二人で交流、確認。 ・黒板に自分たちでまとめる	・各形式段落の大切な文をみつけることがポイントであることを確かめさせる 甘み ・甘みの「程度」が違う ・全く違った感覚で言葉だけが共通している 痛み ・自分の痛みと友達の痛みが同じだという 照明はできない 問い1の答え 〔筆者の考え〕 自分の感じていることと、他の人の感じていることが同じであるという保証はどこにもない ・まとめ1	(関)進んで課題に取り組む(教科書への書き込み・発言) (読)例と意見を区別しながら読み、筆者の考えを見つけている(書き込み・発言)◎
				④筆者の言っている「あまみ(味覚)」や「痛み」の例を、自分たちの経験と重ね合わせながら説明し合う		
				⑤筆者の考えに対する感想を経験を交えながら書く …まとめ2	・経験が無い場合は、筆者の例や友達の例について触れさせる。 ・筆者への共感で無くても良い事を伝える	
(書)俳句の作り方がわかり、自分に合った方法で作句できる(ワークシート)	・今日の技を使って、もう一句作る ・時間があれば「どのワザを使っても良い」ことを伝える ・タイミングが合えば、六年生からも感想をもらう ・次時予告	⑥ふりかえりを書く まとめ 季語からイメージを広げることでも、俳句を作ることができる ⑦今日の技も使って、俳句を作る ・取材に行くのも良し ・歳時記を眺めるのも良し ・色んな作品を読むのも良し ・思いつくかぎりたくさん作る ⑧今日、作った句の中からお気に入りの一句を一つ選んで掲示する	まとめる	⑥交流し合う ・お互いの文章を聞き合い、ふりかえりを書く ・五年生の俳句への感想を伝える	時間が余った場合には言葉のプリント等に取り組ませる。 ・次時予告	(読)体験と結びつけて筆者の考えを読んでいる(ノート・発言)

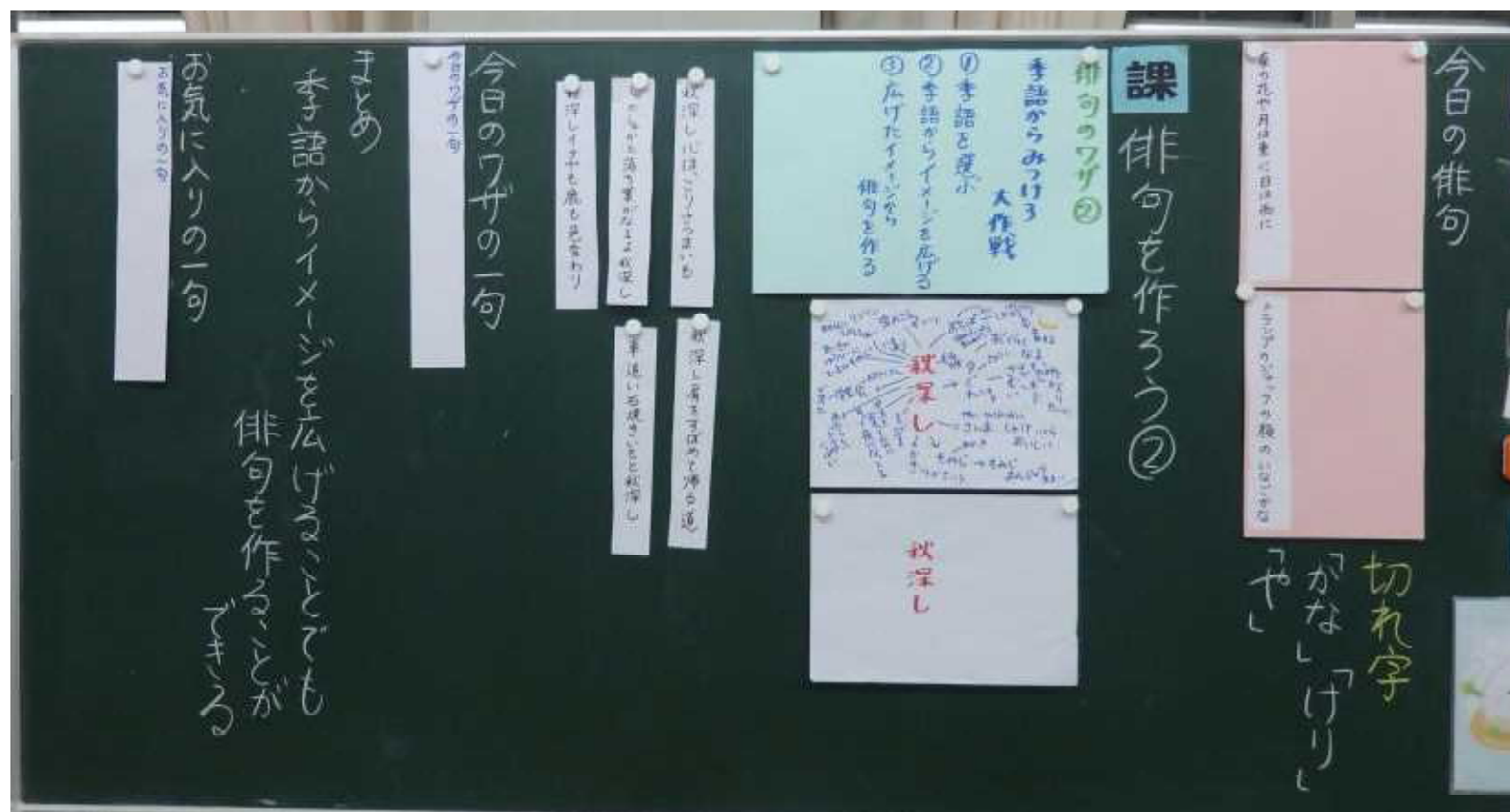
8. 板書計画
6年板書計画
6年前面黑板



6年側面掲示



5年板書計画
5年前面黑板



5年側面掲示

